

保健体育科教育法C		講義	非常勤講師 新井 淑弘
科目カテゴリー	スポーツトレーナーコース、スポーツマネジメントコースの教職科目 柔道整復師コースの教職科目 救急救命士コースの教職科目	科目ナンバリング	11531303 12531303 13531303

1. 授業のねらい・概要

中学校における保健体育科「保健分野」および高等学校における保健体育科科目「保健」に関する目標・内容・方法について学習を行う。保健学習を進めていく上で必要な知識を身につけるとともに、実際の指導に必要な学習指導案の書き方、指導方法の工夫などについて学ぶ。

2. 授業の進め方

主に講義形式で授業を進める。保健学習を進めていく上で必要な知識や技術について学習を行った後に、学習指導案の作成を行う。

3. 授業計画

1. 保健教育の役割と概要 2. 学習指導要領内容と変遷 3. 保健学習の目標と課題 4. 総合的な学習と保健教育 5. 保健学習における授業形態 6. 「保健分野」の学習内容 7. 「保健分野」の学習内容の系統性（小、中、高校にまたがる系統性と関連教科） 8. 学習指導案の書き方①（概要）	9. 学習指導案の書き方②（各項目について） 10. 保健の授業の進め方 11. 授業研究・教材研究の進め方 12. 授業評価の方法と実際 13. 授業改善の方法とその継続 14. 保健教育と安全教育，諸外国の保健教育 15. まとめ
---	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業について復習を行いながら、ノートを整理しておくこと。（毎回2時間程度を必要とする内容）

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施後もしくはミニレポート提出後に、解答のポイント、出題意図等についての説明を行う。

6. 授業における学修の到達目標

保健学習および保健指導の目的・目標およびその内容について理解する。また、保健学習の必要な授業づくりに関する基本事項について理解し、指導案の作成・空授業・模擬授業・授業研究会の経験を通して授業づくりについての理解を深めることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

授業への貢献度・積極性などの平常点：20%，学習指導案の作成：30%，模擬授業実施および指導案改善状況：20%，試験もしくはレポート：30%

8. テキスト・参考文献

文部科学省学習指導要領解説（保健体育編）
中学校保健体育の教科書

9. 受講上の留意事項

学習指導案の作成を行うので、ワープロや表計算ソフト（ワード、エクセルなど）を使えるように練習しておくこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無
該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連
上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。